

洞爺湖町地域公共交通 活性化協議会 ＜中間報告＞

昨年6月、少子高齢化に向けた交通網の維持確保に向け、洞爺湖町地域公共交通活性化協議会が発足されました。1月16日には第3回の同協議会を開催し、「洞爺湖町地域ネットワーク計画（素案）」策定にむけて実施した、バス交通に関するアンケート調査と同実態調査の報告が行われましたので、その概要をお知らせします。

■問合せ 企画防災課企画防災・広報統計グループ ☎74-3004

洞爺湖町の現状

洞爺湖町の現状について、人口が平成22年から平成32年までの10年間で約1,700人の減少が見込まれ、年少人口の割合は減少し、老年人口は増加するという少子高齢化が進み、市街地や洞爺地区で人口密度、高齢者密度が高くなっています。その中で観光客数も、平成20年から平成24年で約80万人減少して

います。

現在、洞爺湖町内を運行するバスは、路線バスが9路線98便、町内巡回バスが3路線8便の合計14路線115便で、町のバス運行に係る負担額は、5968万6000円となっており、そのうち市街地巡回バスや福祉バスが占める割合は約2割となっています。

洞爺湖町を取巻く 地域・交通課題

こういった洞爺湖町の現状の中で、町の地域・交通が抱えている問題としては、①人口減少②利便性の低い公共交通③公共交通空白地域の存在④運行形態の煩雑化⑤非効率的なバス運行⑥厳しい財政状況⑦公共交通サービス水準の地域格差⑧観光交通のアクセシビリティの向上があげられ、それをふまえて、ネットワーク計画の策定素案に向けての目標として、次の課題と方針が提起されました。

課題①持続可能な公共交通の確保と利便性の向上

方針：既存バス運行形態の改善や予約運行型乗合タクシー等の導入による効率的な運行形態の検討

課題②住民ニーズに即した利便性の高い公共交通の導入

方針：高齢者等へのきめ細かい交通サービスの提供を検討

課題③公共交通を核とした地域活性化

方針：地元商業者と共同したバスエコポイント付与サービス制度の検討

課題④公共交通の利用促進

方針：わかりやすいバスマップや利用促進チラシの作成の検討

課題⑤洞爺湖温泉へのアクセス改善の検討

バス交通に関するアンケート調査の結果

昨年10月に、住民ニーズ調査として実施され、5,166戸、10,332票のアンケート調査を実施し、3,547票の回収がありました。回収率は34.3%。

アンケート調査結果から

社会情勢の変化に対応した公共交通ネットワークの整備の必要

「免許所有、自動車運転」の割合が約7割と高くなっており、各種交通行動における移動手段も「自動車（自分で運転）」が高くなっています。

一方免許保有状況を年齢別にみると、高齢者になるほど、免許をもたない割合が高くなっており、公共交通サービスの整備が必要となっています。

将来自動車運転が困難になった祭の移動手段についても「バスの利用」が高くなっています。住民ニーズに即した運行計画の検討

方針：巡回バスの時刻表の見直しによるJR洞爺駅から洞爺湖温泉ターミナルへのアクセス改善を検討

仮にルート変更した場合の町内巡回バスや予約運行型乗合タクシー等の新たな公共交通の利用意向も高くなっています。

バス交通に対する不満では、「バス便数が少ない」「乗りた

い時間にバスがない」等の不満が多くなっています。

地区別にバス交通に対する不満をみると、泉・入江や清水地区などで、「バス停が遠い」とする不満が高くなっています。

町内巡回バスを利用した行きたい施設は、「洞爺湖温泉内温泉施設」が多くなっています。

まとめ
町内生活移動におけるバスサービスの向上のために、洞爺湖温泉へのアクセス改善や町内巡回バスのルート変更（バス停が遠い等への対応）等を行い、町内各地区との結びあいの強化、活力の向上に向けた交通ネットワーク計画の検討を実施することが重要です。